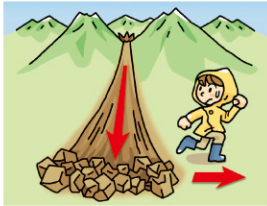


大雨時、降雨後の土砂災害に対する心得

雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

逃げ方を覚えましょう

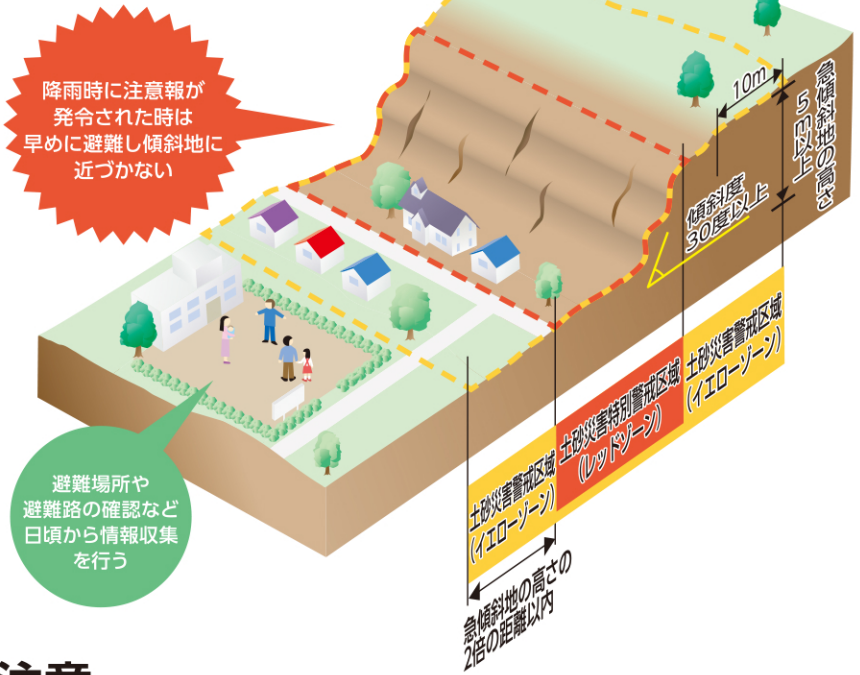


土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

避難場所を決めておきましょう

日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。そうすれば、家族と一緒にいないときでも、避難場所まで落ち合うことができます。

土砂災害警戒区域等について



こんな前ぶれ現象に注意

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

時間的切迫性



流水の異常なにごり



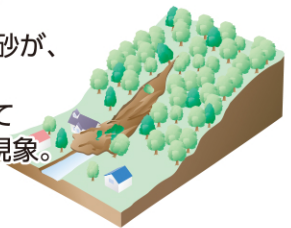
流木が発生
溪流内の転石の音



降雨時での水位の急激な低下
山鳴り・地鳴り

土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



湧水量の増加
井戸水のごり



亀裂の発生



山鳴り・地鳴り

地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。

※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください。



湧水量の増加



小石がぱらぱら落下
湧水がにごる



小石がぼろぼろ落下
亀裂の発生

がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときに発生するとされています。**土砂災害の要因となる降雨**について、常日頃から注意しておく必要があります。